

沖縄県経済動向

(令和5年 10月－12月期)

令和6年3月 22日
沖縄県企画部 企画調整課

沖縄県経済動向

景気は、回復の動きが強まっている。

※指標は、特記が無い限り令和5年10月－12月期とする。

※本資料において、「前年比」は前年同期あるいは前年同月からの増減比とする。

※本頁において、「+、△」は前年同期あるいは前期からの増減とする。

【観光】

・ 入域観光客数は、11期連続で前年同期を上回っている。国内客は、11期連続で前年同期を上回っている。外国客は、航空路線の回復がさらに進んだこと等により、6期連続で前年同期を上回っている。

(総数 +13.9%、国内客 +0.5%、外国客 +533.6%)

・ 主要ホテルの客室稼働率は、前年同期を下回っている。観光施設入場者数は、8期連続で前年同期を上回っている。

(客室稼働率 62.5%、△5.1pt)

【個人消費】

・ 百貨店・スーパー販売額は、既存店、全店舗ともに、前年同期を上回っている。

(販売額 既存店 +6.5%、全店舗 +6.5%)

・ 自動車登録台数(新車)は、総台数、軽自動車ともに、前年同期を上回っている。

(総台数 +3.8%、軽自動車 +3.5%)

【建設関連】

・ 住宅は、着工戸数、着工床面積ともに、前年同期を上回っている。

非居住建築物は、着工床面積、工事費ともに、前年同期を下回っている。

(住宅着工戸数 +7.3%、非居住建築物工事費 △47.4%)

・ 公共工事は、公共工事保証請負件数、請負額ともに前年同期を上回っている。

(公共工事保証件数 +4.8%、請負額 +22.9%)

【雇用情勢】

・ 完全失業率は、前年同期より改善している。(完全失業率 2.9%(原数値)、△0.1pt)

・ 有効求人倍率は、前期を下回っている。(有効求人倍率 1.15倍(季節調整値)、△0.04pt)

【物価】

・ 消費者物価指数は、9期連続で前年同期を上回っている。

(消費者物価指数(総合) +3.5%)

・ レギュラーガソリン小売価格は、前年同期を上回っている。

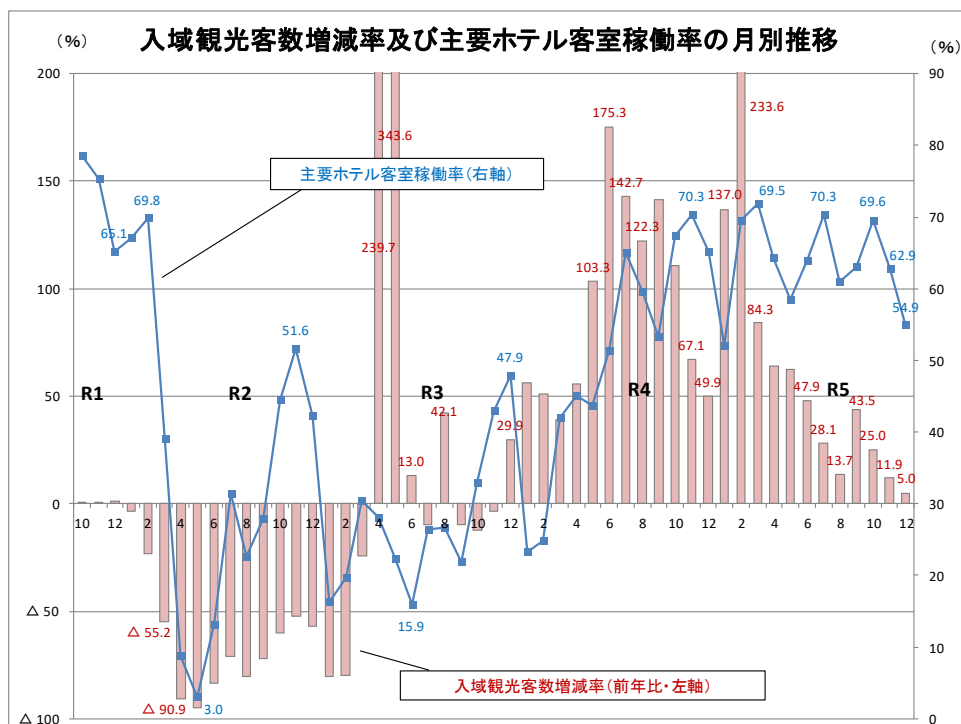
(レギュラーガソリン小売価格 +4円)

以上のように、物価高が続くものの、観光需要や個人消費の増加が続いており、雇用情勢の持ち直しの動きが強まっていることから、「景気は、回復の動きが強まっている。」(3期連続)とした。

なお、先行きについては、景気の回復が続くことが期待されるが、長引く人手不足や物価上昇が県経済に及ぼす影響に引き続き十分注意する必要がある。

① 観光

- 入域観光客数は、11 期連続で前年同期を上回っている。うち国内客は、昨年実施された全国旅行支援の反動等により前年同月を下回る月もあったが、修学旅行シーズンを迎えたことや県内イベントの開催等により、11 期連続で前年同期を上回っている。外国客は、航空路線の回復がさらに進んだこと等により、6期連続で前年同期を上回っている。
- 主要ホテルの客室稼働率は前年同期を下回っている。観光施設入場者数は、8期連続で前年同期を上回っている。

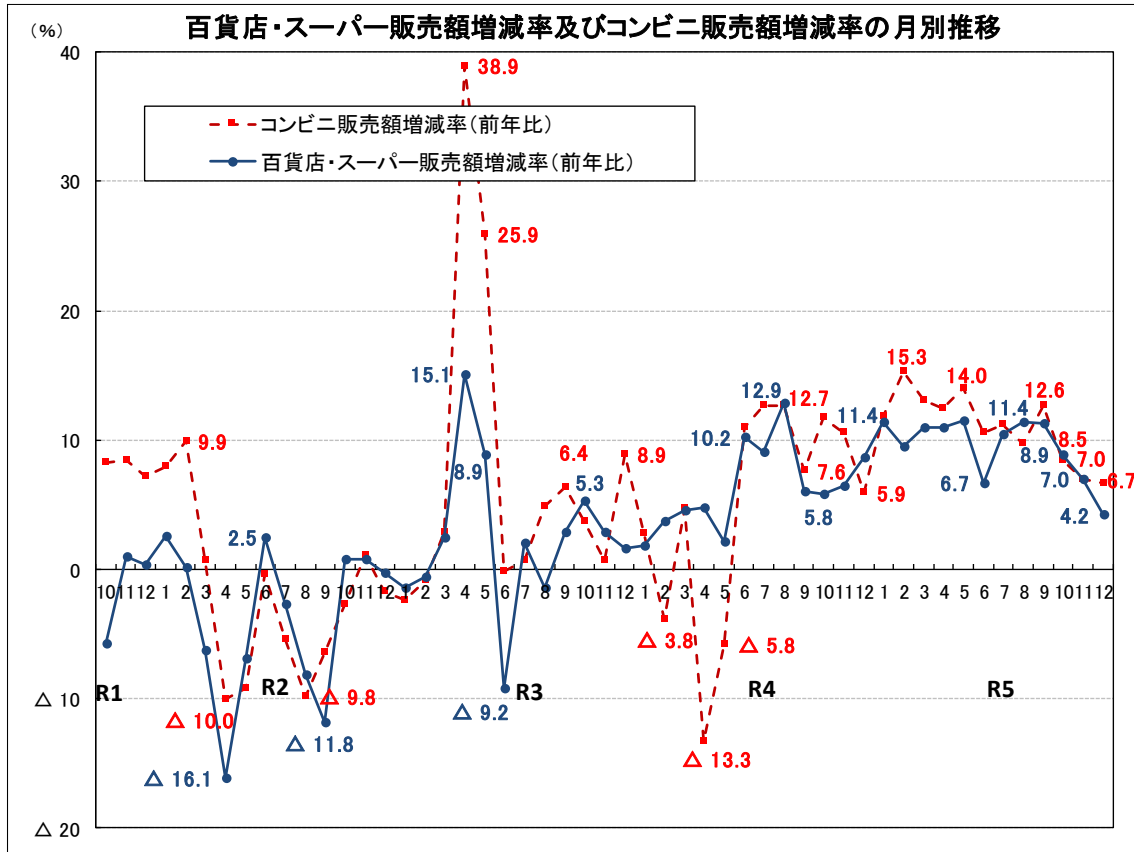


	入域観光客数						主要ホテル客室稼働率		観光施設入場者数
	総数		国内客		外国客		(%)	前年差 ^{※1}	前年比(%)
	(百人)	前年比	(百人)	前年比	(百人)	前年比			
(参考) R1.10-12月	24,056	0.6	17,936	0.9	6,120	△ 0.5	73.0	△ 4.5	△ 5.4
(参考) R2.10-12月	10,485	△ 56.4	10,485	△ 41.5	0	(皆減)	46.0	△ 27.0	△ 66.5
(参考) R3.10-12月	10,906	4.0	10,905	4.0	0	-	41.2	△ 4.8	△ 7.6
R4.10-12月	18,807	72.4	18,331	68.1	476	(皆増)	67.6	26.4	97.8
R5.1-3月	18,963	131.4	17,439	112.8	1,524	(皆増)	64.3	34.1	190.2
4-6月	19,784	57.7	17,641	40.6	2,143	(皆増)	62.2	15.6	94.2
7-9月	22,175	27.2	18,993	9.0	3,182	318100.0	64.8	5.4	34.0
10-12月	21,429	13.9	18,415	0.5	3,016	533.6	62.5	△ 5.1	24.4
R4.10月	6,307	110.9	6,280	110.0	27	(皆増)	67.4	34.4	160.3
11月	6,150	67.1	6,029	63.8	121	(皆増)	70.3	27.4	93.8
12月	6,350	49.9	6,022	42.2	328	(皆増)	65.2	17.3	62.2
R5.1月	5,322	137.0	4,874	117.0	448	(皆増)	52.1	28.8	203.7
2月	5,979	233.6	5,545	209.4	434	(皆増)	69.5	44.7	317.5
3月	7,662	84.3	7,020	68.9	642	(皆増)	71.9	30.0	131.9
4月	6,698	63.8	6,031	47.5	667	(皆増)	64.2	19.2	109.3
5月	6,452	62.6	5,753	45.0	699	(皆増)	58.5	14.9	94.4
6月	6,634	47.9	5,857	30.6	777	(皆増)	63.9	12.6	80.7
7月	7,788	28.1	6,636	9.2	1,152	(皆増)	70.3	5.3	54.7
8月	7,286	13.7	6,322	△ 1.3	964	96300.0	61.0	1.5	11.2
9月	7,101	43.5	6,035	22.0	1,066	(皆増)	63.0	9.6	43.5
10月	7,883	25.0	6,729	7.1	1,154	4174.1	69.6	2.2	34.2
11月	6,880	11.9	5,971	△ 1.0	911	652.9	62.9	△ 7.4	23.9
12月	6,666	5.0	5,715	△ 5.1	951	189.9	54.9	△ 10.3	15.6

※1: 本資料において、「前年差」については四半期指標が「前年同期差」、月次指標が「前年同月差」である。

② 個人消費

- 百貨店・スーパー、コンビニ販売額は、前年同期を上回っている。
- 家電大型専門店販売額は、前年同期を上回っている。
- 自動車登録台数(新車)は、前年同期を上回っている。
- 家計消費支出は、前年同期を上回っている。



	百貨店・スーパー販売額(前年比)		コンビニ販売額	家電大型専門店販売額	自動車登録台数(新車)				家計消費支出※1		実収入	
	既存店	全店舗	前年比	前年比	総台数		うち軽自動車		(円)	前年比	(円)	前年比
					(台)	前年比	(台)	前年比				
(参考)R1.10-12月	△ 4.9	0.0	7.9	0.0	9,702	△ 9.2	5,413	△ 9.8	217,914	△ 1.3	424,502	△ 8.7
(参考)R2.10-12月	△ 2.2	0.0	△ 1.1	0.0	10,495	8.2	6,256	15.6	216,830	△ 0.5	450,665	6.2
(参考)R3.10-12月	1.5	0.0	4.5	0.0	8,538	△ 18.6	4,740	△ 24.2	231,424	6.7	466,340	3.5
R4.10-12月	4.9	7.1	9.3	△ 0.2	10,200	19.5	5,654	19.3	225,832	△ 2.4	525,985	12.8
R5.1-3月	8.3	10.7	13.4	△ 3.3	12,875	30.3	6,143	18.5	234,224	△ 0.8	398,483	13.1
4-6月	8.2	9.7	12.3	△ 7.3	12,313	38.7	5,171	20.6	227,740	7.3	464,619	7.6
7-9月	11.1	11.1	11.1	5.4	11,575	6.9	5,523	8.8	208,046	△ 9.4	412,324	△ 9.7
10-12月	6.5	6.5	7.4	3.1	10,585	3.8	5,851	3.5	229,938	1.8	521,496	△ 0.9
R4.10月	3.5	5.8	11.7	△ 1.8	3,118	21.7	1,846	33.2	214,183	△ 5.0	410,232	13.8
11月	4.3	6.5	10.5	0.0	3,426	11.4	2,017	20.3	209,256	0.1	354,509	4.8
12月	6.5	8.7	5.9	1.0	3,656	26.0	1,791	6.8	254,058	△ 2.2	813,215	16.1
R5.1月	9.0	11.4	11.8	△ 3.6	3,567	32.8	1,950	21.2	238,650	△ 5.1	371,769	17.8
2月	7.1	9.5	15.3	△ 5.0	4,133	45.9	2,040	30.8	210,388	△ 2.9	428,140	7.7
3月	8.6	11.0	13.1	△ 1.7	5,175	18.6	2,153	7.0	253,634	5.5	395,541	14.9
4月	8.5	11.0	12.4	△ 7.5	4,270	23.7	1,781	10.6	249,566	11.5	438,777	5.2
5月	9.5	11.5	14.0	△ 3.5	3,307	69.8	1,588	40.0	227,496	9.8	340,433	△ 10.2
6月	6.7	6.7	10.5	△ 10.4	4,736	36.3	1,802	16.9	206,157	0.2	614,646	22.9
7月	10.4	10.4	11.2	△ 0.8	4,731	1.9	1,663	△ 6.9	209,381	△ 12.0	452,736	△ 17.8
8月	11.4	11.4	9.7	11.8	2,785	△ 0.0	1,574	16.1	215,090	△ 18.8	403,946	△ 13.3
9月	11.3	11.3	12.6	6.6	4,059	19.5	2,286	18.4	199,667	7.3	380,290	7.7
10月	8.9	8.9	8.5	3.5	3,590	15.1	1,998	8.2	258,571	20.7	413,179	0.7
11月	7.0	7.0	7.0	2.7	3,634	6.1	2,053	1.8	206,875	△ 1.1	373,322	5.3
12月	4.2	4.2	6.7	3.2	3,361	△ 8.1	1,800	0.5	224,369	△ 11.7	777,988	△ 4.3

※1: 家計消費支出は二人以上の世帯、実収入は二人以上の世帯のうち勤労者世帯の数値

③ 建設関連

- 住宅は、着工戸数、着工床面積ともに、前年同期を上回っている。
- 非居住建築物は、着工床面積、工事費ともに、前年同期を下回っている。
- 公共工事は、保証件数、請負額ともに、上回っている。

	住宅着工				非居住建築物			
	戸数	前年比	面積(m ²)	前年比	面積(m ²)	前年比	工事費(百万円)	前年比
(参考)R1.10-12月	3,619	△ 12.4	255,221	△ 10.1	172,622	△ 61.4	44,675	△ 48.6
(参考)R2.10-12月	2,651	△ 26.7	206,593	△ 19.1	125,389	△ 27.4	36,964	△ 17.3
(参考)R3.10-12月	2,710	2.2	228,014	10.4	228,757	82.4	64,777	75.2
R4.10-12月	2,452	△ 9.5	206,561	△ 9.4	230,039	0.6	78,944	21.9
R5.1-3月	2,222	15.3	185,544	5.9	85,965	△ 53.0	30,496	△ 27.8
4-6月	2,714	6.0	228,661	4.0	148,320	△ 9.5	47,407	△ 8.2
7-9月	2,616	16.8	212,953	9.3	83,338	△ 33.5	25,093	△ 43.2
10-12月	2,631	7.3	207,519	0.5	159,125	△ 30.8	41,563	△ 47.4
R4.10月	648	△ 27.8	54,848	△ 20.5	85,638	△ 33.4	27,079	△ 26.5
11月	777	△ 11.9	70,642	△ 6.1	93,572	88.2	34,091	113.0
12月	1,027	10.3	81,071	△ 3.3	50,829	0.6	17,774	49.1
R5.1月	895	41.4	72,687	40.7	21,907	△ 68.7	6,444	△ 43.7
2月	657	21.2	54,065	△ 0.8	44,973	66.9	19,290	162.5
3月	670	△ 10.9	58,792	△ 14.8	19,085	△ 77.7	4,763	△ 79.7
4月	733	△ 25.2	62,445	△ 22.0	46,511	△ 4.2	12,979	△ 27.1
5月	768	△ 8.0	65,697	△ 11.6	46,793	△ 20.5	14,464	△ 36.6
6月	1,213	62.6	100,519	53.6	55,016	△ 2.5	19,964	80.4
7月	924	26.4	73,613	15.5	22,279	△ 22.9	8,063	13.9
8月	847	4.6	70,424	1.9	24,928	△ 42.7	8,160	△ 33.7
9月	845	21.1	68,916	11.2	36,131	△ 31.8	8,870	△ 64.2
10月	747	15.3	57,336	4.5	85,643	0.0	17,459	△ 35.5
11月	782	0.6	61,015	△ 13.6	25,353	△ 72.9	6,223	△ 81.7
12月	1,102	7.3	89,168	10.0	48,129	△ 5.3	17,881	0.6

	公共工事保証請負額・件数				建設資材価格 (那覇, H27=100)
	件数	前年比	額(百万円)	前年比	
(参考)R1.10-12月	885	6.4	69,846	44.9	106.8
(参考)R2.10-12月	840	△ 5.1	62,634	△ 10.3	107.9
(参考)R3.10-12月	799	△ 4.9	66,661	6.4	121.5
R4.10-12月	744	△ 6.9	58,012	△ 13.0	143.0
R5.1-3月	595	11.0	155,400	46.3	148.6
4-6月	605	9.4	54,363	△ 32.5	151.5
7-9月	968	△ 5.8	144,758	51.5	149.8
10-12月	780	4.8	71,290	22.9	149.1
R4.10月	309	△ 8.8	29,678	11.1	140.8
11月	238	△ 9.5	17,120	△ 22.1	140.9
12月	197	0.0	11,214	△ 37.6	147.2
R5.1月	152	△ 10.1	11,114	△ 58.6	147.2
2月	171	24.8	59,359	141.8	147.1
3月	272	18.3	84,927	54.9	151.4
4月	161	10.3	17,663	6.4	151.5
5月	184	17.2	14,118	2.8	151.5
6月	260	4.0	22,582	△ 55.0	151.5
7月	311	△ 6.6	44,353	68.0	150.7
8月	302	△ 6.8	26,976	△ 32.3	149.4
9月	355	△ 4.3	73,429	150.2	149.4
10月	323	4.5	22,851	△ 23.0	149.0
11月	250	5.0	30,627	78.9	149.1
12月	207	5.1	17,812	58.8	149.1

④ 雇用情勢

- 労働力人口は、前年同期より20千人、就業者数は21千人の増加となっている。
- 完全失業者数は、23千人となった。完全失業率(原数値)は、2.9%と前年同期から0.1ポイント改善している。
- 有効求人倍率(季調値)は、1.15倍と前期を下回っている。
- 正社員有効求人倍率(原数値)は、0.77倍と前年同期を上回っている。

	労働力人口		就業者数		完全失業者数		完全失業率(原数値)		完全失業率(季調値)	
	(千人)	前年差	(千人)	前年差	(千人)	前年差	(%)	前年差	(%)	前期差
(参考)R1.10-12月	751	9	731	12	20	△4	2.6	△0.6	2.7	△0.3
(参考)R2.10-12月	756	5	730	△1	26	6	3.5	0.9	3.6	0.2
(参考)R3.10-12月	762	6	738	8	23	△3	3.1	△0.4	3.3	△0.4
R4.10-12月	779	17	755	17	24	1	3.0	△0.1	3.3	0.0
R5.1-3月	783	4	756	7	27	△2	3.5	△0.3	3.4	0.1
4-6月	781	14	754	9	27	6	3.5	0.7	3.6	0.2
7-9月	772	14	745	13	27	1	3.5	0.0	3.3	△0.3
10-12月	799	20	776	21	23	△1	2.9	△0.1	3.2	△0.1
R4.10月	772	24	753	26	19	△1	2.5	△0.2	2.7	△0.3
11月	773	9	749	9	24	0	3.1	0.0	3.5	0.8
12月	792	18	764	16	28	2	3.5	0.1	3.6	0.1
R5.1月	787	△2	766	7	22	△8	2.8	△1.0	2.8	△0.8
2月	781	8	753	12	28	△4	3.6	△0.5	3.5	0.7
3月	781	7	749	1	32	6	4.1	0.7	3.9	0.4
4月	787	8	757	0	30	8	3.8	1.0	4.0	0.1
5月	775	15	747	8	27	6	3.5	0.7	3.7	△0.3
6月	781	20	757	18	24	3	3.1	0.3	3.0	△0.7
7月	763	20	742	28	21	△8	2.8	△1.1	2.5	△0.5
8月	764	10	732	4	32	6	4.2	0.8	4.0	1.5
9月	788	10	761	7	27	3	3.4	0.3	3.4	△0.6
10月	805	33	781	28	24	5	3.0	0.5	3.4	0.0
11月	795	22	772	23	23	△1	2.9	△0.2	3.2	△0.2
12月	796	4	774	10	23	△5	2.9	△0.6	2.9	△0.3

	有効求職者数 (季調値)		有効求人数 (季調値)		有効求人倍率 (季調値)		正社員有効求人倍率 (原数値)		現金給与総額指数※1	
	(人)	前期差	(人)	前期差	(倍)	前期差	(倍)	前年差	(R2=100)	前年差
(参考)R1.10-12月	25,538	59	33,805	△1,142	1.32	△0.05	0.63	0.03	107.2	△6.1
(参考)R2.10-12月	29,971	768	22,716	802	0.76	0.01	0.47	△0.16	114.2	7.0
(参考)R3.10-12月	31,853	951	26,320	1,833	0.83	0.04	0.53	0.06	112.3	△1.9
R4.10-12月	30,069	△1,197	33,093	1,545	1.10	0.09	0.70	0.17	112.2	△0.1
R5.1-3月	29,477	△592	33,593	500	1.14	0.04	0.68	0.16	85.0	△0.3
4-6月	28,725	△752	33,946	353	1.18	0.04	0.70	0.17	99.8	△3.5
7-9月	28,783	58	34,156	210	1.19	0.01	0.75	0.16	94.0	1.1
10-12月	28,850	67	33,158	△998	1.15	△0.04	0.77	0.07	109.2	△3.0
R4.10月	30,560	△412	32,722	763	1.07	0.04	0.65	0.15	87.2	1.3
11月	29,848	△712	33,243	521	1.11	0.04	0.71	0.18	89.1	0.6
12月	29,800	△48	33,315	72	1.12	0.01	0.73	0.16	160.4	△2.1
R5.1月	29,876	76	34,045	730	1.14	0.02	0.72	0.17	84.6	1.6
2月	29,551	△325	33,552	△493	1.14	0.00	0.67	0.16	83.4	0.4
3月	29,004	△547	33,182	△370	1.14	0.00	0.65	0.16	87.0	△2.9
4月	28,683	△321	33,682	500	1.17	0.03	0.67	0.17	89.0	0.5
5月	28,718	35	34,066	384	1.19	0.02	0.70	0.18	87.8	1.9
6月	28,773	55	34,090	24	1.18	△0.01	0.73	0.17	122.7	△12.7
7月	28,948	175	34,384	294	1.19	0.01	0.74	0.17	103.6	3.3
8月	28,550	△398	33,762	△622	1.18	△0.01	0.76	0.16	93.0	1.3
9月	28,851	301	34,322	560	1.19	0.01	0.75	0.14	85.4	△1.2
10月	28,800	△51	33,529	△793	1.16	△0.03	0.74	0.09	86.1	△1.1
11月	28,918	118	32,895	△634	1.14	△0.02	0.76	0.05	87.7	△1.4
12月	28,831	△87	33,049	154	1.15	0.01	0.80	0.07	153.7	△6.7

※1: 現金給与総額は事業所規模5人以上の値。

⑤ 物価

- 消費者物価指数は、9期連続で前年同期を上回っている。
- レギュラーガソリン小売価格は、前期を下回っているが、前年同期を上回っている。

	消費者物価指数(R2=100)				レギュラーガソリン小売価格			
	総合	前年比	前月比	総合(生鮮除く)	食料	(円/ℓ)	前年差	前期差
(参考)R1.10-12月	100.4	△ 1.9	△ 1.8	100.4	99.8	154	△ 7	3
(参考)R2.10-12月	99.9	△ 0.5	△ 0.2	99.7	100.2	140.6	△ 14	2
(参考)R3.10-12月	100.4	0.5	0.4	100.3	102.0	170.8	30	8
R4.10-12月	104.5	4.1	1.1	104.0	109.9	175.3	5	△ 7
R5.1-3月	104.2	3.3	△ 0.3	104.1	111.1	171.9	△ 3	△ 3
4-6月	106.3	4.0	2.0	106.0	114.8	173.3	△ 6	1
7-9月	107.5	4.0	1.1	106.9	117.7	183.3	1	10
10-12月	108.2	3.5	0.7	107.7	118.4	179.6	4	△ 4
R4.10月	104.6	4.3	0.7	103.9	110.1	178.0	13	△ 2
11月	104.6	4.2	0.0	104.1	110.2	174.1	1	△ 4
12月	104.2	3.7	△ 0.4	104.0	109.4	173.7	0	0
R5.1月	104.6	4.0	0.4	104.4	110.8	173.2	4	△ 1
2月	103.7	2.8	△ 0.9	103.5	110.9	171.7	△ 4	△ 2
3月	104.4	3.1	0.7	104.3	111.6	170.7	△ 8	△ 1
4月	105.8	3.8	1.3	105.6	113.6	173.4	△ 6	3
5月	105.9	3.6	0.1	105.6	115.1	173.1	△ 6	0
6月	107.2	4.6	1.2	106.9	115.8	173.5	△ 7	0
7月	107.1	4.0	0.0	106.8	116.2	176.6	△ 8	3
8月	107.6	4.2	0.4	106.9	118.2	182.5	1	6
9月	107.7	3.7	0.1	106.9	118.6	190.9	11	8
10月	108.3	3.5	0.6	107.5	118.9	183.9	6	△ 7
11月	108.3	3.6	0.0	107.8	118.6	176.9	3	△ 7
12月	108.0	3.6	△ 0.3	107.7	117.7	178.1	4	1

⑥ 金融

- 実質預金・貸出金(県内6行庫)は、前年同期を上回っている。
- 貸出約定平均金利(地元3行)は、緩やかに低下している。

	預金・貸出金残高(県内6行庫計)					地方銀行貸出約定平均金利		
	実質預金(A)		貸出金(B)		比率※1 (B/A)	全国(%)	沖縄(地元3行貸出 約定平均金利)	
	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)			全国(%)	月末水準(%)
(参考)R1.10-12月	50,492	4.2	40,081	4.8	0.79	0.898	1.465	
(参考)R2.10-12月	56,097	11.1	41,999	4.8	0.75	0.858	1.399	
(参考)R3.10-12月	58,314	4.0	43,199	2.9	0.74	0.828	1.356	
R4.10-12月	60,609	3.9	43,443	0.6	0.72	0.802	1.332	
R5.1-3月	60,834	3.6	43,907	1.9	0.72	0.803	1.324	
4-6月	62,029	2.1	43,533	1.3	0.70	0.798	1.329	
7-9月	62,215	2.8	43,748	1.0	0.70	0.798	1.325	
10-12月	61,973	2.3	43,987	1.3	0.71	0.798	1.318	
R4.10月	60,544	4.2	43,190	0.6	0.71	0.805	1.337	
11月	60,547	3.9	43,292	1.5	0.72	0.804	1.333	
12月	60,609	3.9	43,443	0.6	0.72	0.802	1.332	
R5.1月	60,153	3.2	43,460	1.6	0.72	0.800	1.331	
2月	60,217	3.4	43,643	1.9	0.72	0.800	1.328	
3月	60,834	3.6	43,907	1.9	0.72	0.803	1.324	
4月	61,863	2.6	43,452	1.7	0.70	0.802	1.332	
5月	61,841	2.8	43,485	1.2	0.70	0.799	1.333	
6月	62,029	2.1	43,533	1.3	0.70	0.798	1.329	
7月	62,316	2.3	43,571	1.3	0.70	0.796	1.325	
8月	62,275	2.4	43,500	0.9	0.70	0.795	1.325	
9月	62,215	2.8	43,748	1.0	0.70	0.798	1.325	
10月	61,897	2.2	43,572	0.9	0.70	0.799	1.327	
11月	62,021	2.4	43,631	0.8	0.70	0.798	1.328	
12月	61,973	2.3	43,987	1.3	0.71	0.798	1.318	

※1: 実質預金に対する貸出金の割合。この比率は、県企画部企画調整課で算出したものである。

⑦ 関係機関による景況調査等

- ・ 短期経済観測調査(日本銀行那覇支店)では、令和5年10月－12月期の業況判断DIはプラス42となり、6期連続のプラスとなった。また、令和6年1月－3月期の業況についてもプラスの見通しとしている。雇用人員判断については、現状・見通しともに「不足」超となっている。
- ・ 法人企業景気予測調査(沖縄総合事務局)では、令和5年10月－12月期の景況判断を「現状判断は「上昇」超幅が縮小、先行きは「上昇」超で推移する見通し」としている。雇用では「現状判断は「不足気味」超幅が拡大、先行きは「不足気味」超で推移する見通し」としている。
- ・ 県内企業業況調査(沖縄振興開発金融公庫)では、令和5年10月－12月期の業況判断を「当期は「好転」超幅がやや拡大し、7期連続のプラス、来期は「好転」超幅がやや縮小する見通し」としている。雇用判断では「当期は「不足」超幅がやや拡大、来期も「不足」超幅がやや拡大する見通し」としている。

※ 各調査は、調査対象や内容等が異なるため、調査結果の比較に注意を要する。

※ DI及びBSIは、回答の構成割合の差と定義される。例えば景況DIは、「良い」の回答割合から「悪い」の回答割合を差し引いたものである。

※ 法人企業景気予測調査はBSIを用いている。

	短期経済観測調査 (日本銀行那覇支店) 業況判断DI	法人企業景気予測調査 (沖縄総合事務局) 景況判断BSI	県内企業景況調査 (沖縄振興開発金融公庫) 業況判断DI
R4. 10-12	22	11.0	18.8
R5. 1-3	24	8.3	20.2
4-6	31	8.0	26.0
7-9	39	20.0	18.0
10-12 (※1)	42 (37)	4.6 (4.5)	21.0 (20.5)
次期見通し	32	8.3	17.7

※1: 下段括弧内は、前回調査における見通しとしてのDI・BSIである。

	短期経済観測調査 (日本銀行那覇支店) 雇用判断DI	法人企業景気予測調査 (沖縄総合事務局) 雇用判断BSI※1	県内企業景況調査 (沖縄振興開発金融公庫) 雇用判断DI※1
R4. 10-12	△ 48	△ 43.9	△ 47.3
R5. 1-3	△ 52	△ 35.7	△ 51.8
4-6	△ 54	△ 41.1	△ 48.8
7-9	△ 54	△ 47.6	△ 50.3
10-12 (※2)	△ 57 (△ 57)	△ 49.0 (△ 40.0)	△ 54.9 (△ 52.2)
次期見通し	△ 62	△ 35.6	△ 57.0

※1: 法人企業景気予測調査と県内企業景況調査の原資料においては、(不足－過剰)をDI・BSIと定義しているが、本資料では短期経済観測調査の表記に合わせて、符号を反転し、全て(過剰－不足)のDI・BSIとして掲載している。

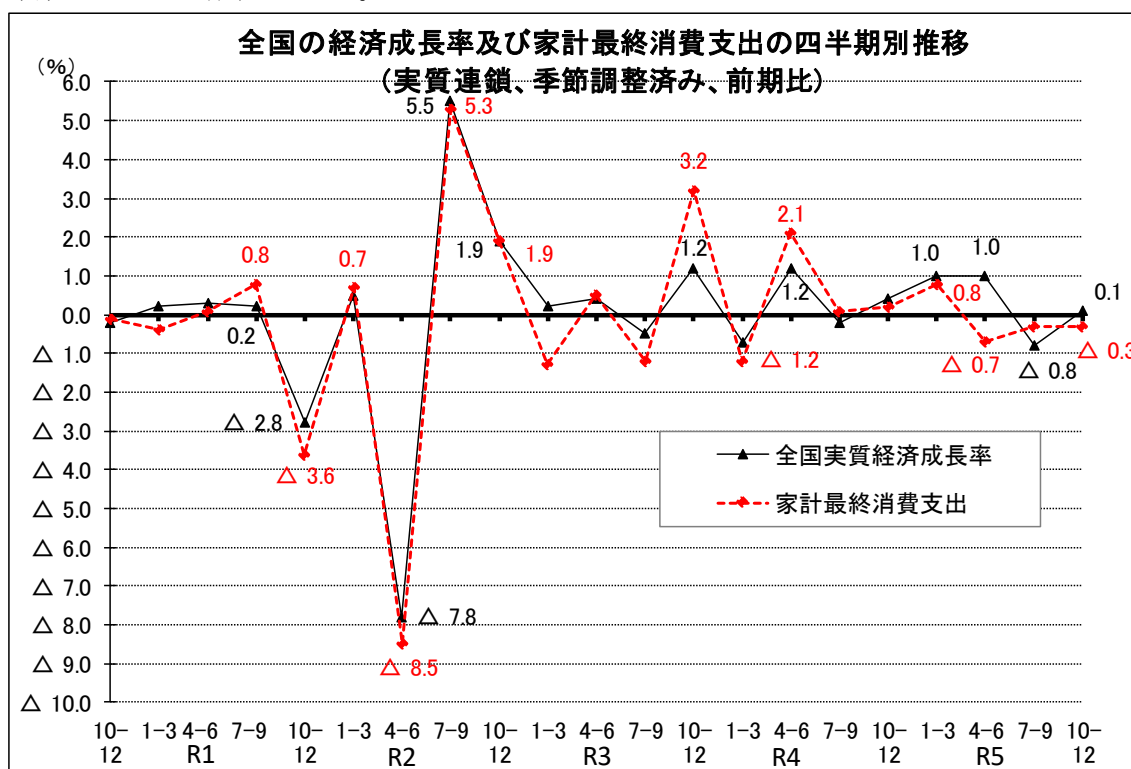
※2: 下段括弧内は、前回調査における見通しとしてのDI・BSIである。

⑧ その他

- 企業倒産は、件数・負債総額ともに前年同期を下回っている。また金融支援により、倒産件数は110ヵ月連続で一桁台となっているが、6期連続でコロナ関連倒産が確認された。
- 貿易額は、輸入額、輸出額ともに、前年同期を下回っている。

	鉱工業指数 (季節調整済指数)				企業倒産			沖縄地区税関貿易額				
	生産指数		出荷指数		(負債総額1千万円以上)			輸出額		輸入額		差引額 (輸出-輸入)
	H27=100	前期比(%)	H27=100	前期比(%)	件数	百万円	前年比(%)	百万円	前年比(%)	百万円	前年比(%)	百万円
(参考)R1.10-12月	83.4	△ 5.9	75.8	△ 5.5	9	1,064	58.6	11,548	△ 26.7	44,240	△ 18.9	△ 32,692
(参考)R2.10-12月	74.4	△ 1.6	69.2	△ 0.7	9	535	△ 49.7	5,413	△ 53.1	22,887	△ 48.3	△ 17,474
(参考)R3.10-12月	78.4	△ 14.3	69.8	△ 8.9	8	2,557	△ 377.9	11,911	△ 120.0	38,012	△ 66.1	△ 26,101
R4.10-12月	70.1	△ 1.0	65.0	△ 2.4	10	1,508	△ 41.0	16,565	△ 39.1	100,133	△ 163.4	△ 83,568
R5.1-3月	76.0	△ 8.4	62.1	△ 4.5	11	703	△ 81.3	8,788	△ 74.3	54,893	△ 90.8	△ 46,105
4-6月	72.6	△ 4.5	64.3	△ 3.5	12	1,208	△ 316.6	27,254	△ 301.2	52,579	△ 33.9	△ 25,325
7-9月	72.6	△ 0.0	65.7	△ 2.2	10	938	△ 68.1	5,824	△ 64.6	99,867	△ 3.3	△ 94,043
10-12月	74.4	△ 2.5	67.1	△ 2.1	7	549	△ 63.6	10,804	△ 34.8	80,770	△ 19.3	△ 69,966
R4.10月	72.1	△ 1.2	65.6	△ 4.4	4	816	△ 88.0	2,285	△ 46.8	22,880	△ 63.6	△ 20,595
11月	68.0	△ 5.7	63.7	△ 2.9	2	75	△ 76.6	8,149	△ 48.4	25,200	△ 123.5	△ 17,051
12月	70.3	△ 3.4	65.6	△ 3.0	4	617	△ 65.8	6,131	△ 189.2	52,053	△ 308.3	△ 45,922
R5.1月	75.0	△ 6.7	61.9	△ 5.6	2	128	△ 95.5	1,061	△ 28.6	17,031	△ 56.5	△ 15,970
2月	75.6	△ 0.8	59.5	△ 3.9	3	430	△ 4,200.0	1,800	△ 93.3	12,348	△ 72.8	△ 10,548
3月	77.3	△ 2.2	64.9	△ 9.1	6	145	△ 84.5	5,927	△ 0.5	25,514	△ 137.6	△ 19,587
4月	72.0	△ 6.9	61.9	△ 4.6	3	294	△ 72.9	24,678	△ 836.2	21,810	△ 24.5	△ 2,868
5月	72.8	△ 1.1	64.3	△ 3.9	4	689	△ 474.2	1,147	△ 46.5	10,582	△ 64.7	△ 9,435
6月	72.9	△ 0.1	66.7	△ 3.7	5	225	-	1,429	△ 29.0	20,187	△ 37.1	△ 18,758
7月	70.4	△ 3.4	64.5	△ 3.3	3	147	△ 56.4	1,943	△ 7.7	47,769	△ 13.3	△ 45,826
8月	68.8	△ 2.3	63.3	△ 1.9	1	20	△ 94.8	1,326	△ 13.8	36,444	△ 57.5	△ 35,118
9月	78.7	△ 14.4	69.4	△ 9.6	6	771	△ 828.9	2,555	△ 80.1	15,654	△ 50.1	△ 13,099
10月	72.9	△ 7.4	65.6	△ 5.5	1	200	△ 75.5	1,602	△ 29.9	17,421	△ 23.9	△ 15,819
11月	77.0	△ 5.6	68.4	△ 4.3	4	239	△ 218.7	7,894	△ 3.1	50,389	△ 100.0	△ 42,495
12月	73.3	△ 4.8	67.3	△ 1.6	2	110	△ 82.2	1,308	△ 78.7	12,960	△ 75.1	△ 11,652

- 10-12月期の実質GDP成長率(季節調整済)は、前期比0.1%増、年率換算0.4%増と1四半期ぶりのプラス成長となった。



＜参考＞関係機関による景況判断

	内閣府 (月例経済報告: 全国)	内閣府 (地域経済動向)	沖縄総合事務局	沖縄振興開発 金融公庫	日銀那覇支店	りゅうぎん総研	おきぎん経研	海邦総研	沖縄県
公表 R5/1 (指標12月)	景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。	沖縄地域では、景気は緩やかに持ち直している。	管内経済は、持ち直している。	県内景況は、回復の動きにある。	県内景気は、持ち直している。	景気は、緩やかに回復している。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで回復しつつある。	県内景気は緩やかに回復している。	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、持ち直している。
公表 R5/2 (指標1月)	景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。				県内景気は、持ち直している。	景気は、緩やかに回復している。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで回復しつつある。		
公表 R5/3 (指標2月)	景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。				県内景気は、持ち直している。	景気は、緩やかに回復している。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで回復しつつある。		
公表 R5/4 (指標3月)	景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。	沖縄地域では、景気は回復している。	管内経済は、持ち直している。	県内景況は、回復の動きが広がる。	県内景気は、回復している。	景気は、回復の動きが強まる。	県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもと、着実に回復しつつある。	県内景気は緩やかに回復している。	景気は、緩やかに回復している。
公表 R5/5 (指標4月)	景気は、緩やかに回復している。				県内景気は、回復している。	景気は、回復の動きが強まる。	県内景況は、着実に回復しつつある。		
公表 R5/6 (指標5月)	景気は、緩やかに回復している。				県内景気は、回復している。	景気は、回復の動きが強まる。	県内景況は、着実に回復しつつある。		
公表 R5/7 (指標6月)	景気は、緩やかに回復している。	沖縄地域では、景気は回復している。	管内経済は、緩やかに回復しつつある。	県内景況は、力強く回復している。	県内景気は、回復している。	景気は、回復の動きが強まる。	県内景況は、着実に回復しつつある。	県内景気は緩やかに回復している。	景気は、回復の動きが強まっている。
公表 R5/8 (指標7月)	景気は、緩やかに回復している。				県内景気は、回復している。	景気は、回復の動きが強まる。	県内景況は、着実に回復しつつある。		
公表 R5/9 (指標8月)	景気は、緩やかに回復している。				県内景気は、天候要因による一時的な下押し圧力を受けつつも、回復している。	景気は、回復の動きが強まる。	県内景況は、着実に回復しつつある。		
公表 R5/10 (指標9月)	景気は、緩やかに回復している。	沖縄地域では、景気は回復している。	管内経済は、回復しつつある。	県内景況は、引き続き回復している。	県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している。	県内景況は、着実に回復しつつある。	県内景気は緩やかに回復している。	景気は、回復の動きが強まっている。
公表 R5/11 (指標10月)	景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。				県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している。	県内景況は、回復している。		
公表 R5/12 (指標11月)	景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。				県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している。	県内景況は、回復している。		
公表 R6/1 (指標12月)	景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。	沖縄地域では、景気は回復している。	管内経済は、回復しつつある。	県内景況は、拡大している。	県内景気は、拡大基調にある。	景気は、緩やかに拡大している。	県内景況は、回復している。	県内景気は緩やかに回復している。	景気は、回復の動きが強まっている。
公表時期	毎月	おおむね3ヶ月毎	3ヶ月毎	3ヶ月毎	毎月	毎月	毎月	3ヶ月毎	3ヶ月毎

注1：内閣府(月例経済報告)においては、公表月の2ヶ月前の指標に加え、公表日までに得られた指標等も併せて判断している。
 注2：内閣府(地域経済動向)においては、公表月の前月までの指標等も併せて判断している。
 注3：沖縄総合事務局においては、前回判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。
 注4：日銀那覇支店においては、概ね公表の前営業日までに入手可能な経済指標(特に明記がない場合、前々月分)や情報を用いて判断している。

出 典 一 覧

項 目	出 典
①観光 入域観光客数 主要ホテル客室稼働率 観光施設入場者数	沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課 日本銀行那覇支店 (株)りゅうぎん総合研究所
②個人消費 百貨店・スーパー販売額 コンビニ販売額 家電製品販売額 自動車販売 家計消費支出(二人以上の世帯)	経済産業省 日本銀行那覇支店 経済産業省 沖縄県自動車販売協会 沖縄県企画部統計課
③建設関係 住宅着工 非居住建築物 公共工事保証請負額 建設資材価格指数	国土交通省 国土交通省 西日本建設業保証(株) (一財)経済調査会
④雇用情勢 労働力調査 (労働力人口、就業者数、完全失業者数、完全失業率) 労働市場の動き (求職者数、求人数、有効求人倍率、正社員有効求人倍率) 現金給与総額指数	沖縄県企画部統計課 厚生労働省沖縄労働局 沖縄県企画部統計課
⑤物価 消費者物価指数 レギュラーガソリン小売価格	沖縄県企画部統計課 経済産業省資源エネルギー庁
⑥金融 預金・貸出金残高(県内6行庫計) 地方銀行・約定平均金利(全国) 地元3行貸出約定平均金利(沖縄)	日本銀行 日本銀行 日本銀行那覇支店
⑦関係機関における景況調査等 県内企業短期経済観測調査 法人企業景気予測調査 県内企業景況調査	日本銀行那覇支店 沖縄総合事務局財務部 沖縄振興開発金融公庫
⑧その他 鉱工業指数 企業倒産 沖縄地区税関貿易額 全国の経済成長率等	沖縄県企画部統計課 (株)東京商工リサーチ 財務省沖縄地区税関 内閣府